

文化芸術団体の活動等に関する アンケート調査の結果について

令和元年7月
社会教育部文化振興課

第1	アンケート調査の概要・結果の考察	1 頁
第2	アンケート回答の集計結果	3 頁
第3	(参考) アンケート調査票	22 頁

第1 アンケート調査の概要・結果の考察

1 目的

文化芸術団体の活動状況や現在の課題などを把握することで、文化芸術団体間の連携、情報発信の方向性をはじめ、「旭川市文化芸術振興基本計画」の各施策を効果的に推進していくための検討を進めることを目的とする。

2 調査対象団体 349団体

(旭川市民文化会館・クリスタルホール・公民館・補助金制度
・後援名義等の使用団体から抽出した文化芸術団体)

3 実施期間 平成31年2月14日から平成31年3月8日まで

4 調査方法 郵送による

5 回答率 53.3% (小数点第2位以下四捨五入) (調査対象: 349団体 回答 186団体 未回答 163団体)

6 収集情報の取扱い

質問I_問8の団体連絡先及び個別の調査票は非公表とする。

7 集計結果について 3～21頁に掲載

8 アンケート調査票 22～26頁に掲載

9 調査結果の考察

I 団体の概要について (質問I)

- ・ 平均年齢 (中心となる年齢層) は、70代以上の回答が4割を占め、更に60代以上では7割を占めており、高齢化が進んでいる。アンケート結果には高齢化に伴う課題が多く反映されている。(5頁-問3)
- ・ 練習頻度は週1回以上が過半数であり、それぞれの団体が活発な活動をしていることがうかがえる。(9頁-問7)

Ⅱ 課題等について（質問Ⅱ）

- ・ 大半の団体が、「会員の確保・拡大」や「高齢化に伴う後継者不足」の課題を抱えている。
（１１頁－問１）

（活動場所について）

- ・ 市に求める支援としては、最も多い回答が「活動場所確保」であった。（１２頁－問２）
- ・ 活動場所に何らかの課題を抱えている団体が多く、「利用可能な施設についての情報提供」「活動に利用している施設の備品や設備の整備・充実」「市有施設の利用手続きの簡素化」を求める声が多い。（１９頁－問９）
- ・ また、自由記載欄についても、半数が練習場所や発表場所に関する要望であり、使用料や使い勝手に不満を感じている団体が多いことが分かった。（問１２）

（若い世代の担い手について）

- ・ 「若い世代の担い手の増加育成に取組」については、取り組みが「特になし」と回答した団体が最も多く（１３頁－問３）、「会員の確保・拡大」や「高齢化に伴う後継者不足」といった課題を抱えているものの（１１頁－問１）、具体的な取組に繋がっていない団体が多い。
- ・ そうした団体の多くが、市に対して「若い世代に活動や成果を見てもらえる場の提供」や「若い世代に対する情報発信の支援」等何らかの支援を求めている。（「特になし」と回答したうち２／３が何らかの支援を希望、１４頁－問４）
- ・ 団体分野別では、「楽器演奏（吹奏楽、和楽器など）」の団体が、若い世代の増加育成に積極的に取り組んでおり、また市に対しても他団体との連携機会提供や若手育成のための学校教育との橋渡し等、積極的な支援を望む傾向があった。（１３、１４頁－問３、問４を団体活動分野別に分析）

（他団体との合同活動について）

- ・ 他団体と合同での活動については、団体の大半が行っているが（１５頁－問５）、一方で市に求める支援としては、無回答が最も多く（１６頁－問６）、現在の活動状況である程度満足している状況がうかがえる。

（情報発信について）

- ・ 情報発信については、各団体で様々な媒体を使用しているが（１７頁－問７）、市に求める支援としては、「チラシ・ポスター等設置場所の充実」が多い一方、「市や教育委員会のTwitterやFacebookへの活動情報掲載」は少なく（１８頁－問８）、比較的若い世代向けのメディアには効果を感じていない、または抵抗がある団体が多いものと思われる。

第2 アンケート回答の集計結果

質問Ⅰ 団体の概要について

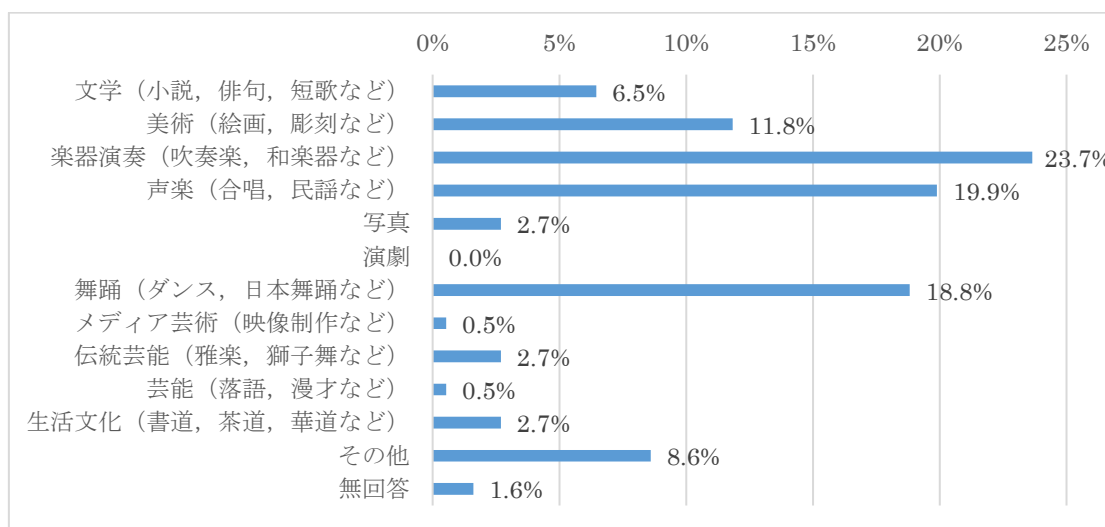
問1 団体の活動分野について、次の中からお選びください。

団体の活動分野として最も多い回答は、「楽器演奏（吹奏楽，和楽器など）」が44団体（23.7%）であり、「声楽（合唱，民謡など）」が37団体（19.9%），「舞踊（ダンス，日本舞踊など）」が35団体（18.8%）と続く。

一方で，最も少ない回答は，「演劇」で0団体（0.0%），続いて「メディア芸術（映像制作など）」「芸能（落語，漫才など）」で1件（0.5%）である。

活動分野	件数	比率
文学(小説, 俳句, 短歌など)	12	6.5%
美術(絵画, 彫刻など)	22	11.8%
楽器演奏(吹奏楽, 和楽器など)	44	23.7%
声楽(合唱, 民謡など)	37	19.9%
写真	5	2.7%
演劇	0	0.0%
舞踊(ダンス, 日本舞踊など)	35	18.8%
メディア芸術(映像制作など)	1	0.5%
伝統芸能(雅楽, 獅子舞など)	5	2.7%
芸能(落語, 漫才など)	1	0.5%
生活文化(書道, 茶道, 華道など)	5	2.7%
その他	16	8.6%
無回答	3	1.6%
合計	186	100.0%

※その他：「和太鼓」「詩吟」「シャンソン」「ミュージカル」「よさこい」，活動分野が複数にまたがる団体などが含まれる。

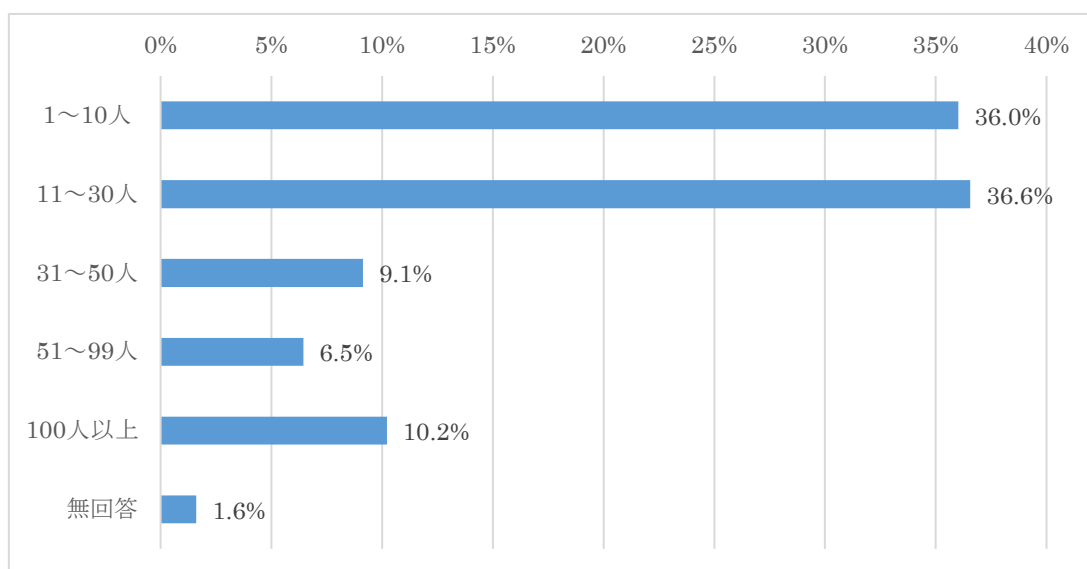


問2 団体の会員数をお選びください。

団体の会員数として最も多い回答は、「11～30 人」が 68 団体（36.6%）であり、「1～10 人」が 67 団体（36.0%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「51～99 人」で 12 件（6.5%）である。

会員数	件数	比率
1～10 人	67	36.0%
11～30 人	68	36.6%
31～50 人	17	9.1%
51～99 人	12	6.5%
100 人以上	19	10.2%
無回答	3	1.6%
合計	186	100.0%

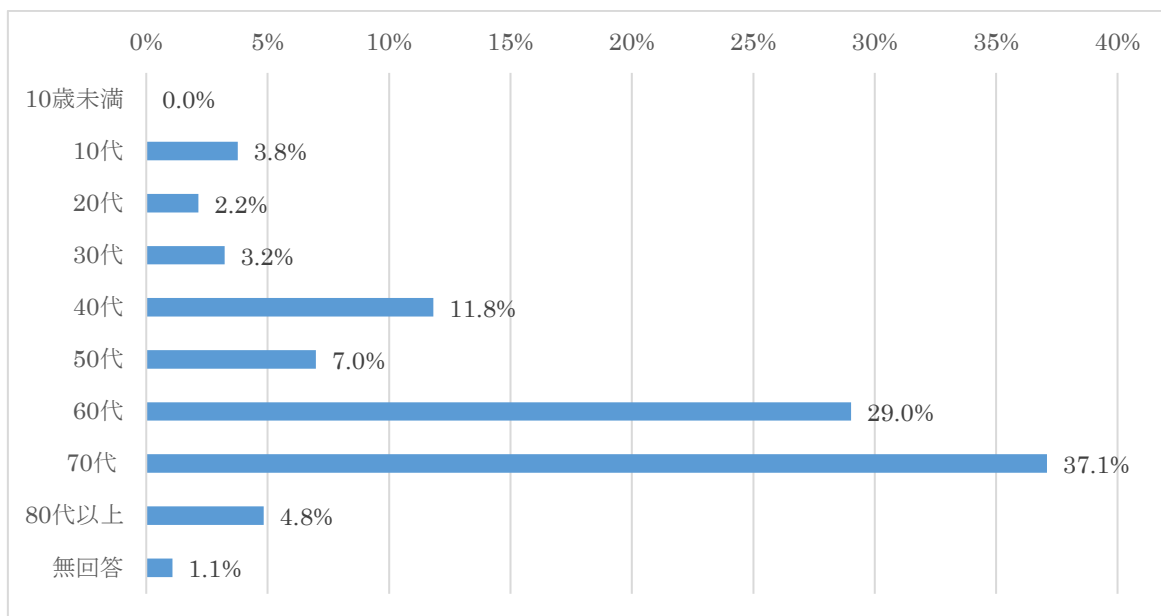


問3 団体の会員の平均年齢（中心となる年齢層）をお選びください。

会員の平均年齢として最も多い回答は、「70代」が69団体（37.1%）であり、「60代」が54団体（29.0%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「10歳未満」で0件（0.0%）、続いて「20代」が4件（2.2%）である。

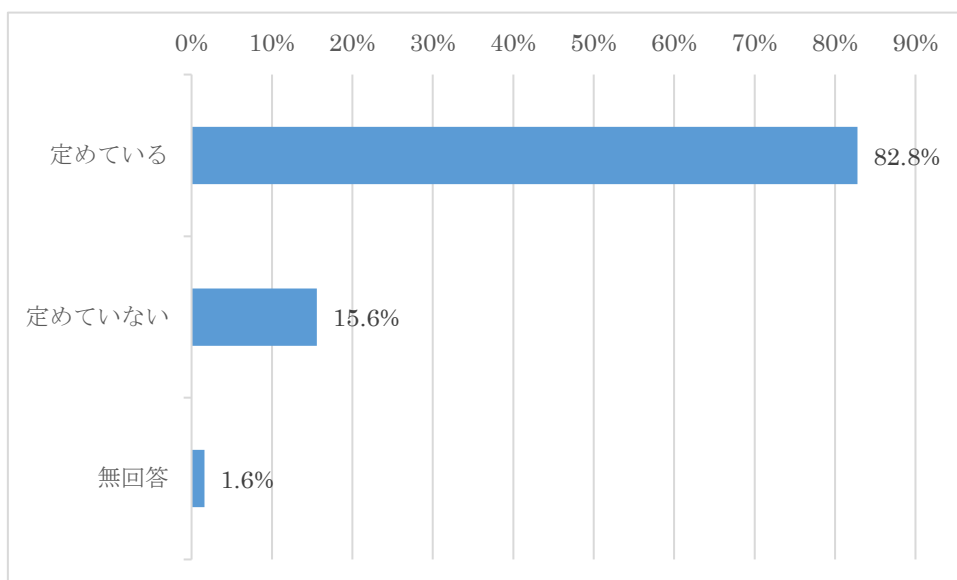
年齢層	件数	比率
10歳未満	0	0.0%
10代	7	3.8%
20代	4	2.2%
30代	6	3.2%
40代	22	11.8%
50代	13	7.0%
60代	54	29.0%
70代	69	37.1%
80代以上	9	4.8%
無回答	2	1.1%
合計	186	100.0%



問 4 活動するにあたり、団体の会則や規約（役員、活動内容、会計等に関する決まりを文章にしたもの）を定めていますか。

団体の会則や規約を定めている団体は、154 団体（82.8%）であり、定めていない団体は 29 団体（15.6%）である。

会則や規約の有無	件数	比率
定めている	154	82.8%
定めていない	29	15.6%
無回答	3	1.6%
合計	186	100.0%

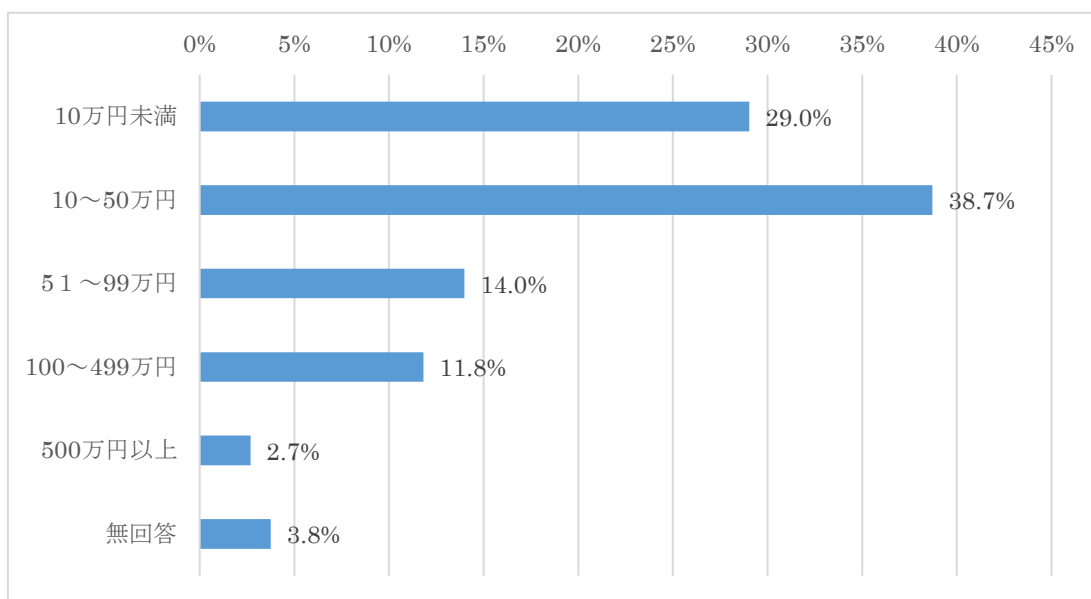


問5 団体で1年間の活動に必要とする経費の額をお選びください。

年間の活動経費として最も多い回答は、「10～50万円」が72団体（38.7%）であり、「10万円未満」が54団体（29.0%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「500万円以上」で5団体（2.7%）である。

金額	件数	比率
10万円未満	54	29.0%
10～50万円	72	38.7%
51～99万円	26	14.0%
100～499万円	22	11.8%
500万円以上	5	2.7%
無回答	7	3.8%
合計	186	100.0%



問6 団体の練習，創作などの場所として主に利用している施設を教えてください。

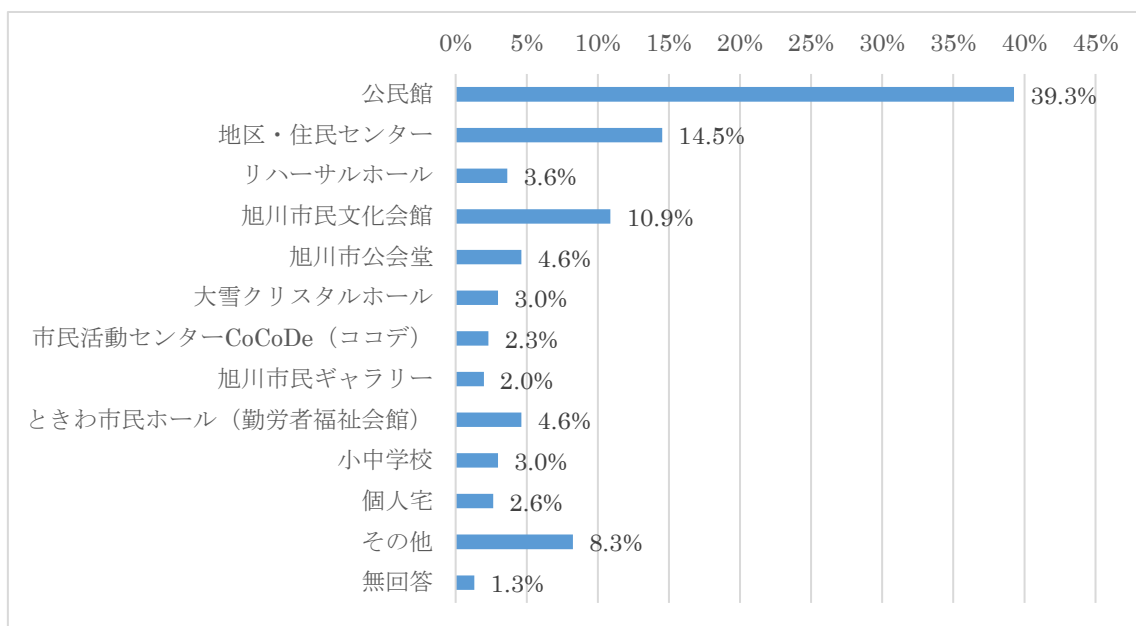
【複数回答可】

主に利用している施設として最も多い回答は、「公民館」が119件（39.3%）であり、「地区・住民センター」が44件（14.5%）と続く。

一方で，最も少ない回答は、「旭川市民ギャラリー」で6件（2.0%）である。

利用施設名	件数	比率
公民館	119	39.3%
地区・住民センター	44	14.5%
リハーサルホール	11	3.6%
旭川市民文化会館	33	10.9%
旭川市公会堂	14	4.6%
大雪クリスタルホール	9	3.0%
市民活動センターCoCoDe(ココデ)	7	2.3%
旭川市民ギャラリー	6	2.0%
ときわ市民ホール(勤労者福祉会館)	14	4.6%
小中学校	9	3.0%
個人宅	8	2.6%
その他	25	8.3%
無回答	4	1.3%
合計	303	100.0%

※その他：「貸しスタジオ」3件，「ホテル」2件，「道北経済センター」「フィール7階」「旭川文学資料館・井上靖記念館」「道新文化センター」「シアターカンダ」「木楽輪」「まちなか文化小屋」「愛別町「蔵ら」」「大学」「民間の音楽練習室」「他社の施設」「保有スタジオ」「北海道護国神社」，個人でそれぞれ練習，複数場所で練習など



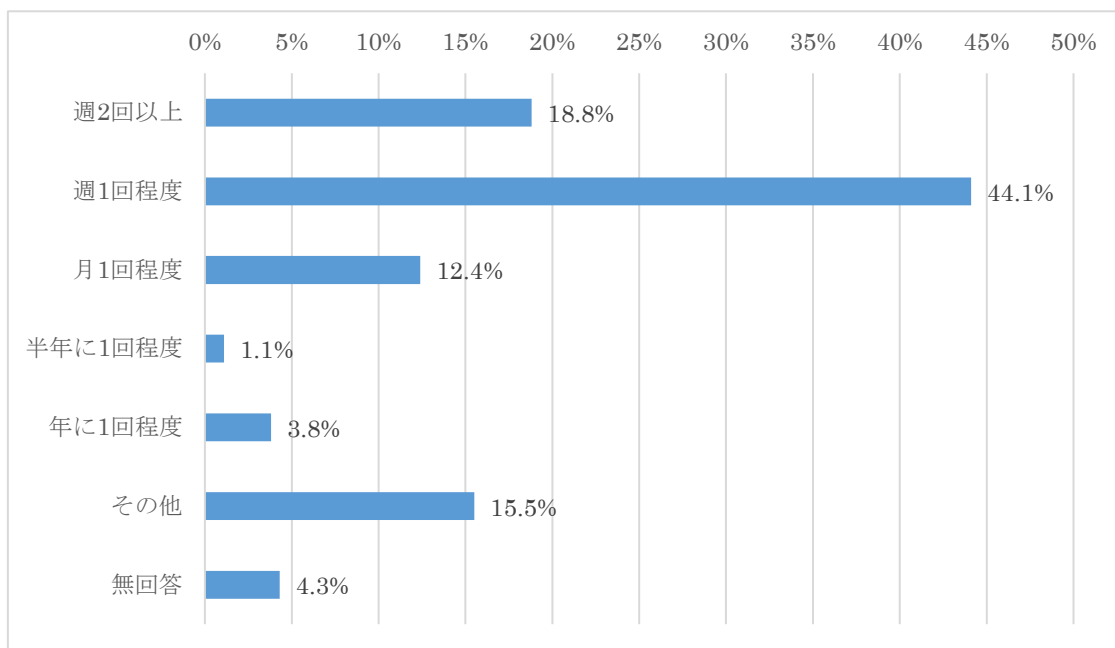
問7 団体の練習，創作などを行う頻度を教えてください。

団体の練習，創作などを行う頻度として最も多い回答は、「週1回程度」が82団体(44.1%)であり、「週2回以上」が35団体(18.8%)と続く。

一方で，最も少ない回答は，「半年に1回程度」で2団体(1.1%)である。

頻度	件数	比率
週2回以上	35	18.8%
週1回程度	82	44.1%
月1回程度	23	12.4%
半年に1回程度	2	1.1%
年に1回程度	7	3.8%
その他	29	15.5%
無回答	8	4.3%
合計	186	100.0%

※その他「月2回程度」10件，「月3回程度」7件，「月2～3回程度」3件，「週1～2回」「月2～4回程度」「月5回以上」「年7～8回程度」「特に行っていない」など



問 8 今後、教育委員会から、お知らせ等をお送りしても支障がない方は、ご連絡先の記入をお願いします。

非公表とする。

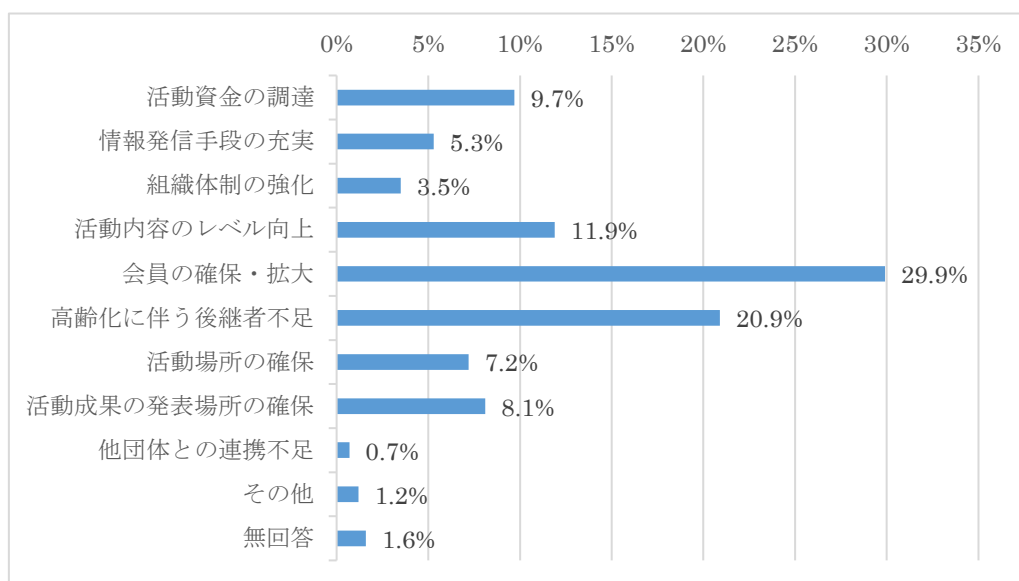
質問Ⅱ 団体活動における課題等について

問1 団体の活動を行うにあたり、どのような課題をおもひですか。【3つまで】

課題として最も多い回答は、「会員の確保・拡大」が129件(29.9%)であり、「高齢化に伴う後継者不足」が90件(20.9%)、「活動内容のレベル向上」が51件(11.9%)と続く。一方で、最も少ない回答は、「他団体との連携不足」で3件(0.7%)である。

課題	件数	比率
活動資金の調達	42	9.7%
情報発信手段の充実	23	5.3%
組織体制の強化	15	3.5%
活動内容のレベル向上	51	11.9%
会員の確保・拡大	129	29.9%
高齢化に伴う後継者不足	90	20.9%
活動場所の確保	31	7.2%
活動成果の発表場所の確保	35	8.1%
他団体との連携不足	3	0.7%
その他	5	1.2%
無回答	7	1.6%
合計	431	100.0%

※「その他」：「成果発表会での観覧者の確保」「指導者不足」「ボランティア活動」など



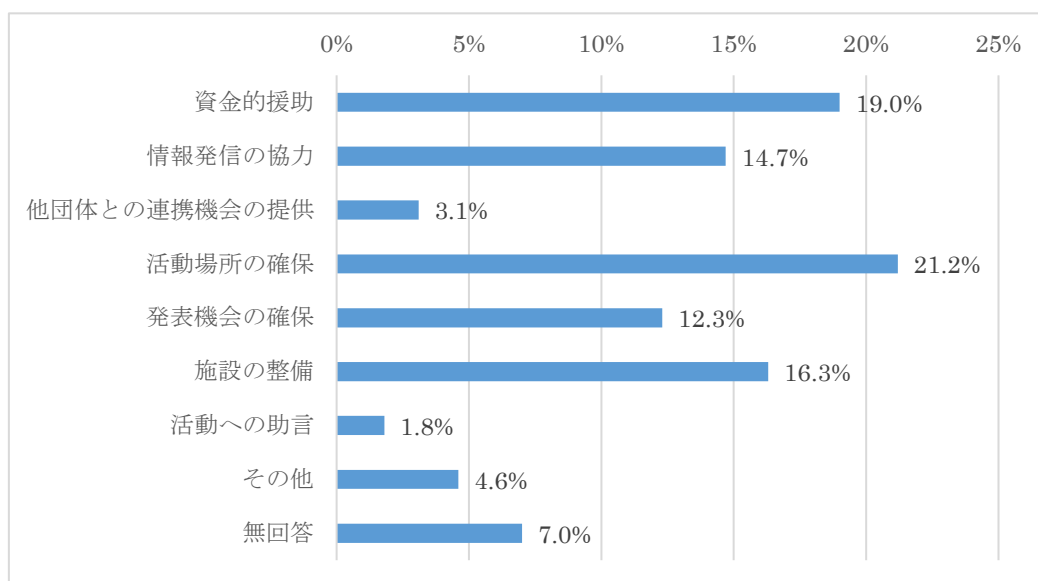
問2 団体の活動活発化のため、市にどのような支援を希望しますか。【3つまで】

団体の活動活発化のため、市に希望することとして最も多い回答は、「活動場所の確保」が69件（21.2%）、「資金的援助」が62件（19.0%）、「施設の整備」が53件（16.3%）「情報発信の協力」が48件（14.7%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「活動への助言」6件（1.8%）、続いて「他団体との連携機会の提供」10件（3.1%）である。

希望内容	件数	比率
資金的援助	62	19.0%
情報発信の協力	48	14.7%
他団体との連携機会の提供	10	3.1%
活動場所の確保	69	21.2%
発表機会の確保	40	12.3%
施設の整備	53	16.3%
活動への助言	6	1.8%
その他	15	4.6%
無回答	23	7.0%
合計	326	100.0%

※「その他」：「駐車場無料化・場所確保」「文化会館の使用料値下げ（小ホール）」「公民館以外の公共利用料の値下げ」「公民館の手続き時間を土・日・祝も可能にしてほしい」「団員確保のための案内・紹介等の充実」「生涯学習への啓蒙」「太鼓オーディオなど保管所確保」「公民館のIT整備、Wi-Fi・PC・プロジェクター等導入」「支所での発表場所確保」「これ以上の活発化は望んでいない」など



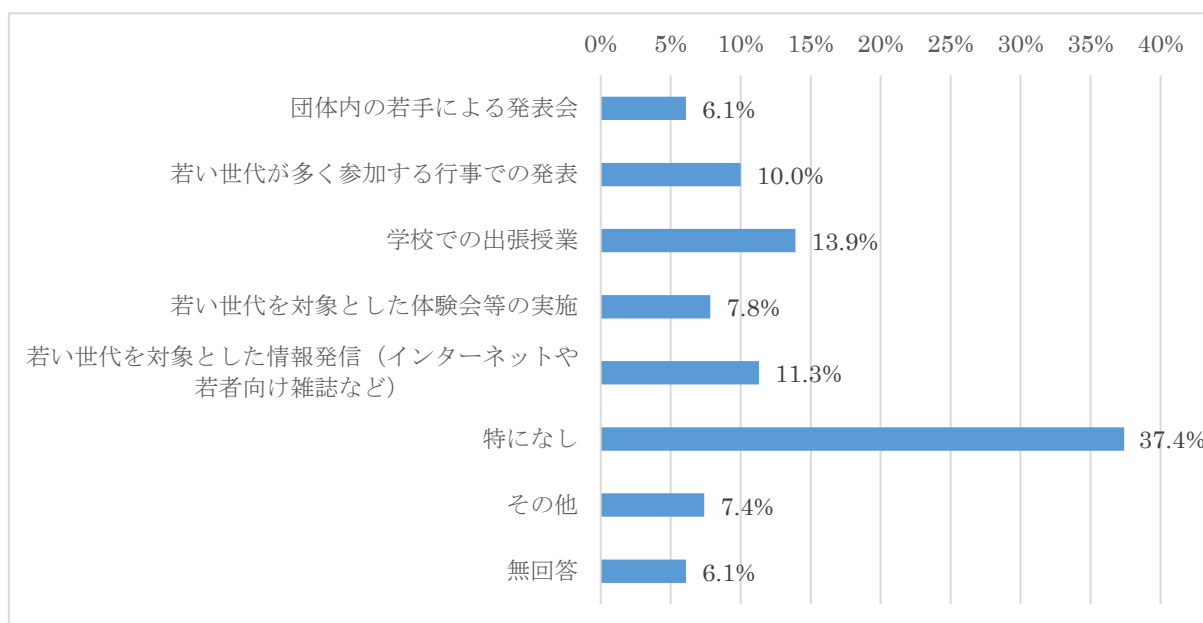
問3 若い世代の担い手の増加・育成に向けた取組を行っていますか。【複数回答可】

若手の増加・育成に向けた取組として最も多い回答は、「特になし」が86件（37.4%）であり、「学校での出張授業」が32件（13.9%）、「若い世代を対象とした情報発信（インターネットや若者向け雑誌など）」が26件（11.3%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「団体内の若手による発表会」で14件（6.1%）である。

取組内容	件数	比率
団体内の若手による発表会	14	6.1%
若い世代が多く参加する行事での発表	23	10.0%
学校での出張授業	32	13.9%
若い世代を対象とした体験会等の実施	18	7.8%
若い世代を対象とした情報発信（インターネットや若者向け雑誌など）	26	11.3%
特になし	86	37.4%
その他	17	7.4%
無回答	14	6.1%
合計	230	100.0%

※「その他」：「秋月こども園での和太鼓指導」「20才以下の出品料無料」「新規会員募集・勧誘・広告」「合唱連盟による合唱祭」「公民館の発表参加」「幼稚園・保育園・支援センターでの演奏により子育て世代のお母さん達への周知」「公募展出品の働きかけ」「あさひばし、公民館だよりの活用」「プロデュース法、発声法、表現技術のレッスン」「若い世代への個人指導とグループレッスン」など



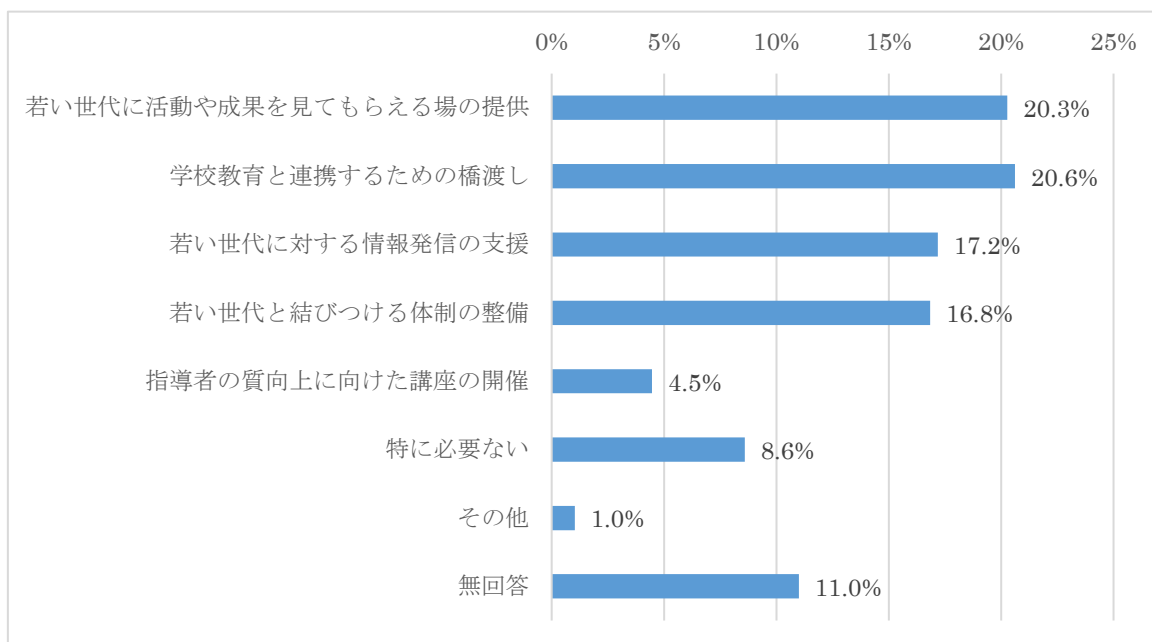
問4 若い世代の増加・育成を進めるにあたって、市にどのような支援を希望しますか。
【3つまで】

若手の増加・育成にあたり市に希望することとして最も多い回答は、「学校教育と連携するための橋渡し」が60件（20.6%）であり、「若い世代に活動や成果を見てもらえる場の提供」が59件（20.3%）、「若い世代に対する情報発信の支援」が50件（17.2%）、「若い世代と結びつける体制の整備」49件（16.8%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「指導者の質向上に向けた講座の開催」で13件（4.5%）である。

希望内容	件数	比率
若い世代に活動や成果を見てもらえる場の提供	59	20.3%
学校教育と連携するための橋渡し	60	20.6%
若い世代に対する情報発信の支援	50	17.2%
若い世代と結びつける体制の整備	49	16.8%
指導者の質向上に向けた講座の開催	13	4.5%
特に必要ない	25	8.6%
その他	3	1.0%
無回答	32	11.0%
合計	291	100.0%

※「その他」：「少子化対策の強化」「指導者の経費負担」など



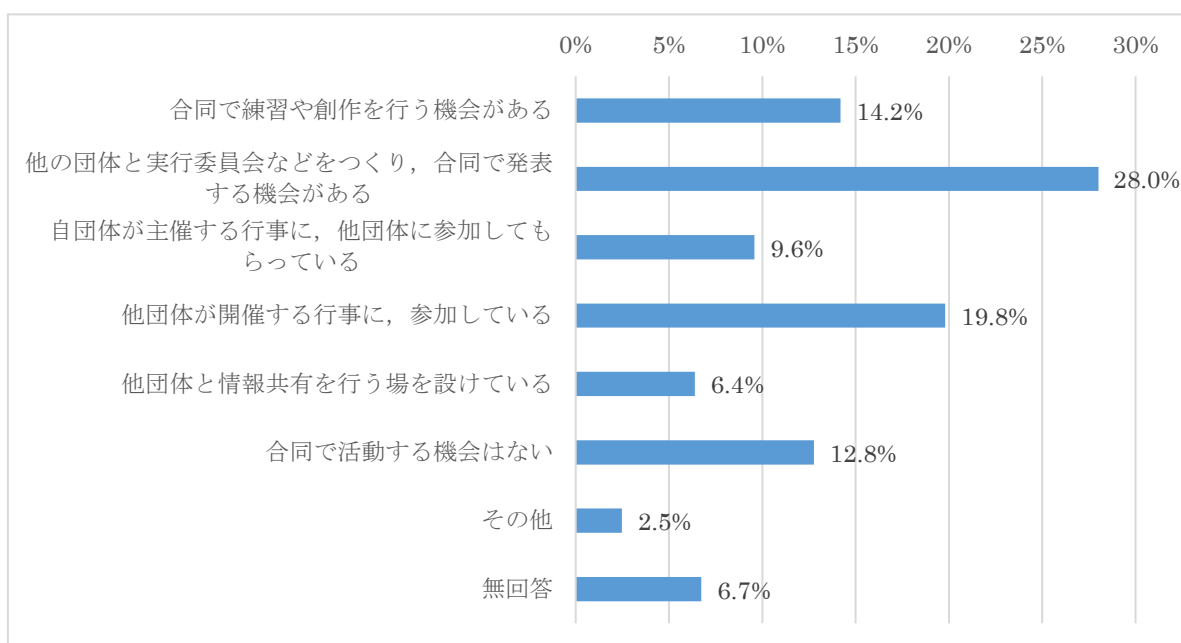
問5 他の団体と合同で活動する機会がありますか。【複数回答可】

他団体との合同で活動する機会として最も多い回答は、「他の団体と実行委員会などをつくり、合同で発表する機会がある」が 79 件 (28.0%) であり、「他団体が開催する行事に、参加している」が 56 件 (19.8%), 「合同で練習や創作を行う機会がある」が 40 件 (14.2%) と続く。

一方で、最も少ない回答は、「他団体と情報共有を行う場を設けている」で 18 件 (6.4%) である。

他団体との活動機会	件数	比率
合同で練習や創作を行う機会がある	40	14.2%
他の団体と実行委員会などをつくり、合同で発表する機会がある	79	28.0%
自団体が主催する行事に、他団体に参加してもらっている	27	9.6%
他団体が開催する行事に、参加している	56	19.8%
他団体と情報共有を行う場を設けている	18	6.4%
合同で活動する機会はない	36	12.8%
その他	7	2.5%
無回答	19	6.7%
合計	282	100.0%

※「その他」: 「連盟主催の行事に参加」「公民館主催の発表会に参加」「文化団体に協力」「年に3回くらい大会がある」「合同の発表会を開催」「井上靖記念館、道立旭川美術館等と協力」「旭川市、道北地域の年2〜3回の発表会に出演」など



問6 他団体と合同で活動するにあたって、市にどのような支援を希望しますか。

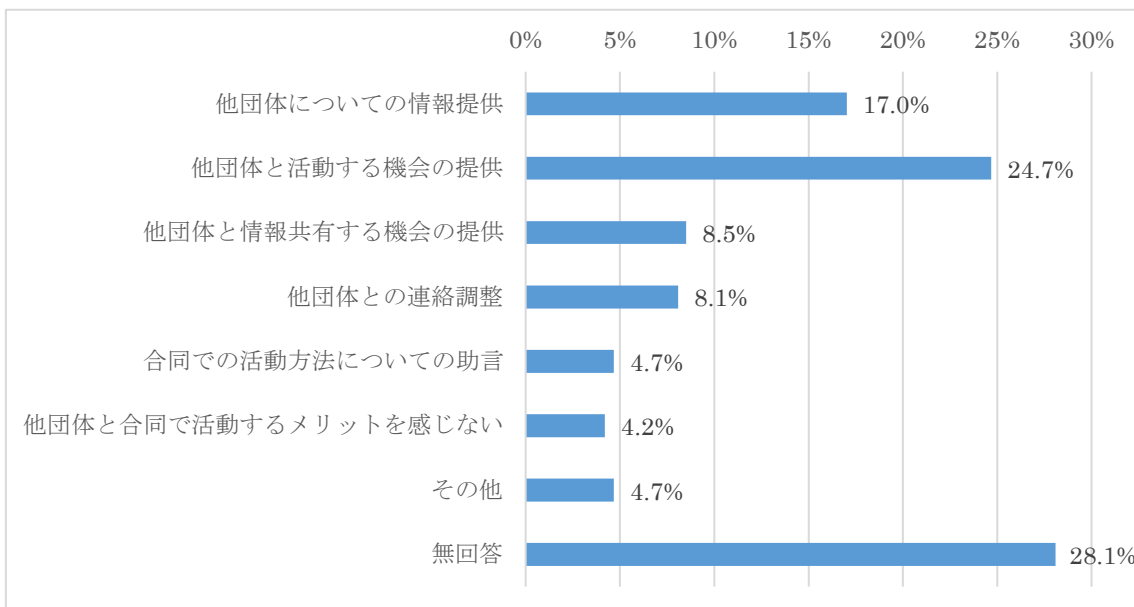
【3つまで】

他団体との合同活動にあたり市に希望することとして最も多い回答は、「他団体と活動する機会の提供」が58件（24.7%）であり、「他団体についての情報提供」が40件（17.0%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「他団体と合同で活動するメリットを感じない」で10件（4.2%）である。

希望内容	件数	比率
他団体についての情報提供	40	17.0%
他団体と活動する機会の提供	58	24.7%
他団体と情報共有する機会の提供	20	8.5%
他団体との連絡調整	19	8.1%
合同での活動方法についての助言	11	4.7%
他団体と合同で活動するメリットを感じない	10	4.2%
その他	11	4.7%
無回答	66	28.1%
合計	235	100.0%

※「その他」：「資金援助（場所代など）」「稽古場所の提供」「全市的な行事は事前にホールを予約したい」「合同の発表の場があるので特になし」など



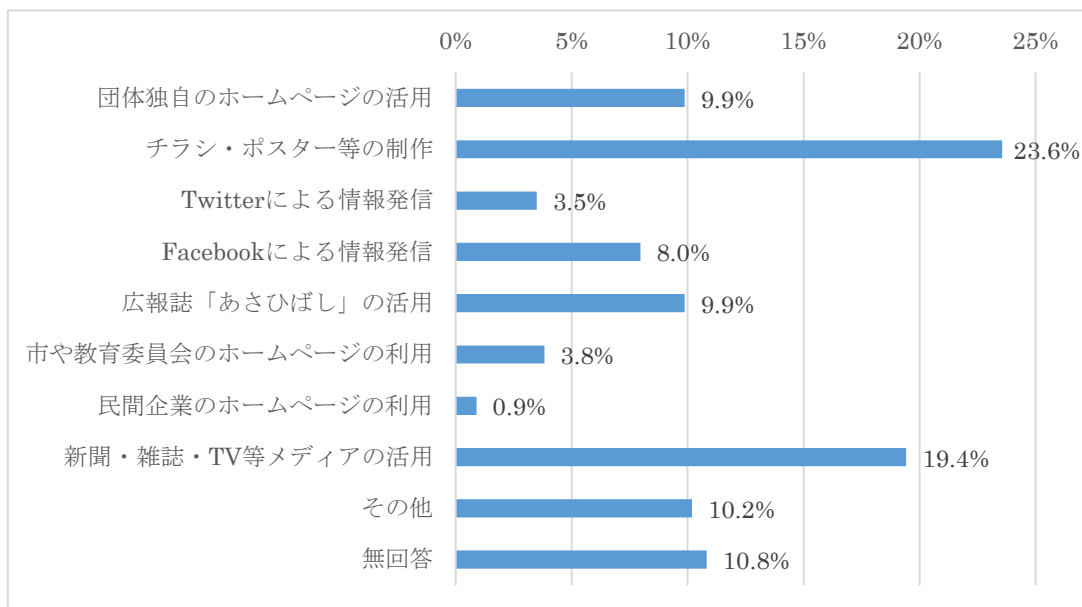
問7 団体の活動について、どのような情報発信を行っていますか。【複数回答可】

情報発信の内容として最も多い回答は、「チラシ・ポスター等の制作」が74件（23.6%）であり、「新聞・雑誌・TV等メディアの活用」が61件（19.4%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「民間企業のホームページの利用」で3件（0.9%）である。

方法	件数	比率
団体独自のホームページの活用	31	9.9%
チラシ・ポスター等の制作	74	23.6%
Twitterによる情報発信	11	3.5%
Facebookによる情報発信	25	8.0%
広報誌「あさひばし」の活用	31	9.9%
市や教育委員会のホームページの利用	12	3.8%
民間企業のホームページの利用	3	0.9%
新聞・雑誌・TV等メディアの活用	61	19.4%
その他	32	10.2%
無回答	34	10.8%
合計	314	100.0%

※「その他」：「公民館広報等の活用」6件、「生活情報あかり伝言板の活用」4件、「展示会等の際に発信」2件、「ライナー・ななかまど掲載」「各団体責任者との連携」「個人的に勧誘」「社会福祉協会」「郵便はがき」「新聞掲示」「口コミ」など



問 8 団体の活動について情報発信する上で、市にどのような支援を希望しますか。

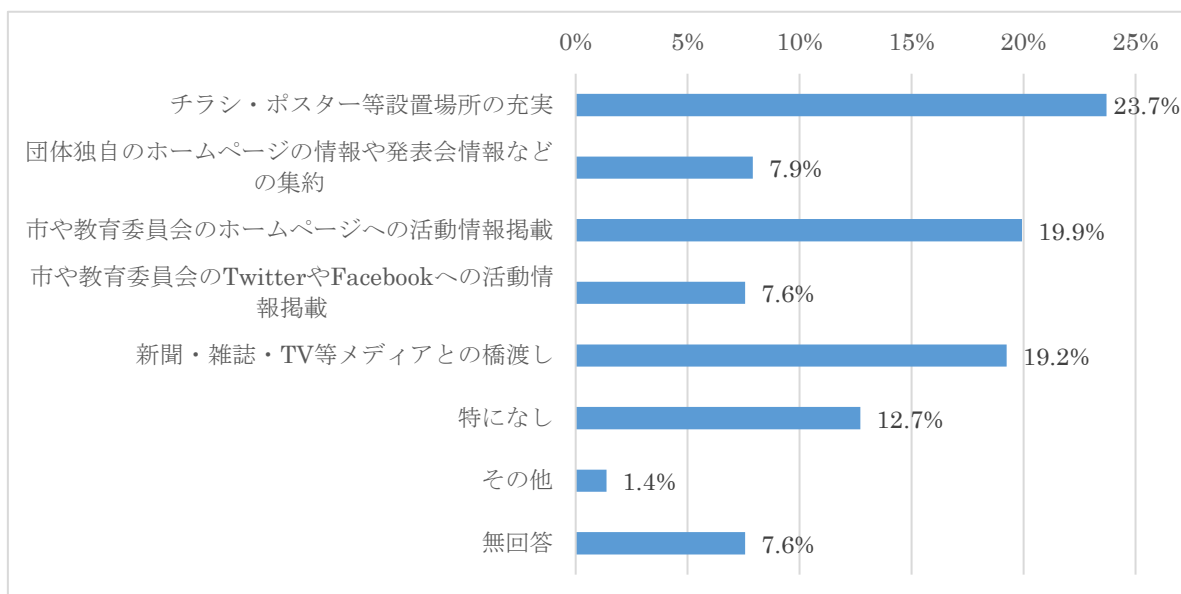
【3つまで】

情報発信にあたり市に希望することとして最も多い回答は、「チラシ・ポスター等設置場所の充実」が 69 件（23.7%）であり、「市や教育委員会のホームページへの活動情報掲載」が 58 件（19.9%）、「新聞・雑誌・TV 等メディアとの橋渡し」が 56 件（19.2%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「市や教育委員会の Twitter や Facebook への活動情報掲載」で 22 件（7.6%）である。

希望内容	件数	比率
チラシ・ポスター等設置場所の充実	69	23.7%
団体独自のホームページの情報や発表会情報などの集約	23	7.9%
市や教育委員会のホームページへの活動情報掲載	58	19.9%
市や教育委員会の Twitter や Facebook への活動情報掲載	22	7.6%
新聞・雑誌・TV 等メディアとの橋渡し	56	19.2%
特になし	37	12.7%
その他	4	1.4%
無回答	22	7.6%
合計	291	100.0%

※「その他」：「何でもいいので情報発信をしたい」「あさひばしへの掲載」「色々やったが、効果がないので解らない」など



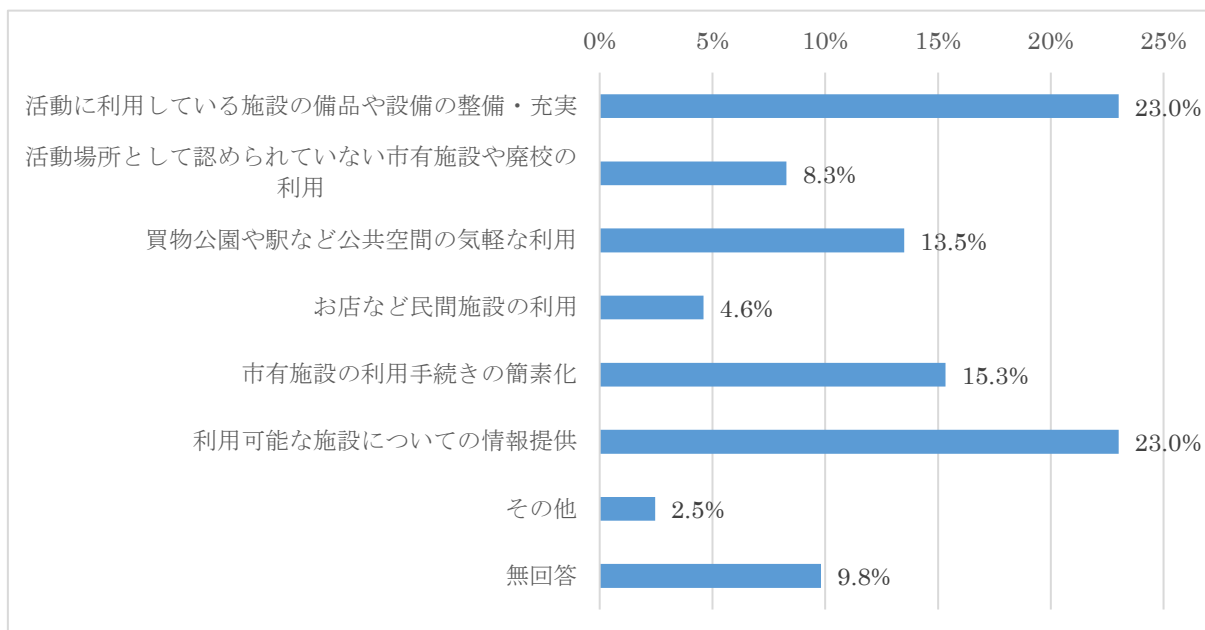
問9 活動を行う場所について、どのような希望がありますか。【3つまで】

活動場所についての希望として最も多い回答は、「活動に利用している施設の備品や設備の整備・充実」「利用可能な施設についての情報提供」がともに75件（23.0%）であり、「市有施設の利用手続きの簡素化」が50件（15.3%）、「買物公園や駅など公共空間の気軽な利用」が44件（13.5%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「お店など民間施設の利用」で15件（4.6%）である。

希望内容	件数	比率
活動に利用している施設の備品や設備の整備・充実	75	23.0%
活動場所として認められていない市有施設や廃校の利用	27	8.3%
買物公園や駅など公共空間の気軽な利用	44	13.5%
お店など民間施設の利用	15	4.6%
市有施設の利用手続きの簡素化	50	15.3%
利用可能な施設についての情報提供	75	23.0%
その他	8	2.5%
無回答	32	9.8%
合計	326	100.0%

※「その他」：「机、イスの出し入れが大変」「公民館の継続利用」「文化会館の利用料を市立学校は減免、または無料化」「音響設備の充実」「文化会館、各公民館の使用」「夜間利用時間の延長」「現在の場所で満足」など



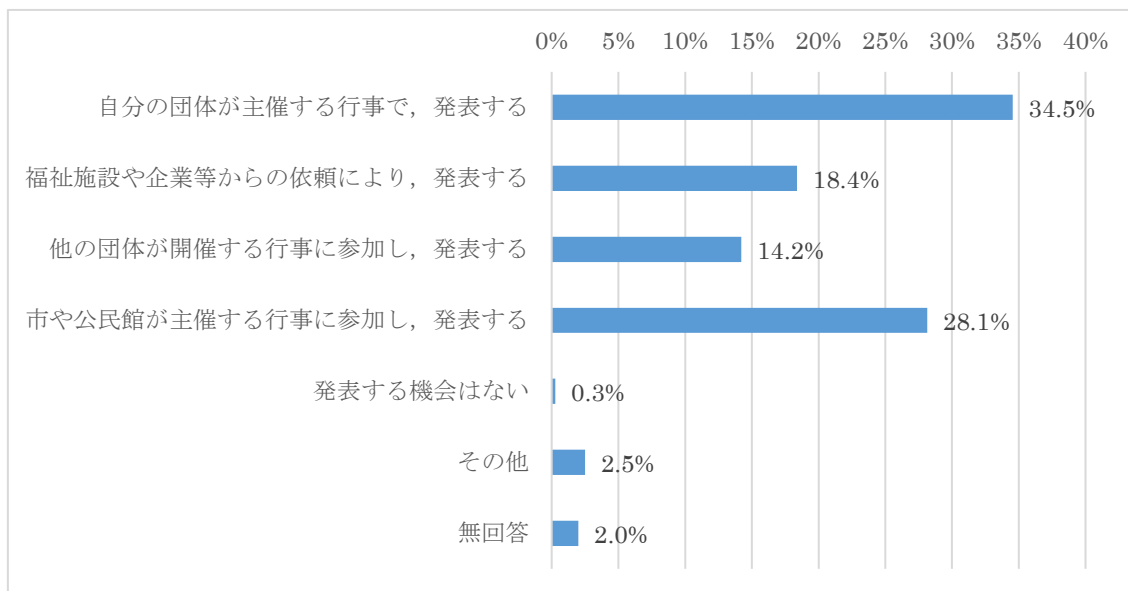
問 10 活動の成果を市民等に発表する機会がありますか。【複数回答可】

活動成果の発表機会について最も多い回答は、「自分の団体が主催する行事で、発表する」が 124 件 (34.5%) であり、「市や公民館が主催する行事に参加し、発表する」が 101 件 (28.1%)、「福祉施設や企業等からの依頼により、発表する」が 66 件 (18.4%) と続く。

一方で、最も少ない回答は、「発表する機会はない」で 1 件 (0.3%) である。

発表する機会	件数	比率
自分の団体が主催する行事で、発表する	124	34.5%
福祉施設や企業等からの依頼により、発表する	66	18.4%
他の団体が開催する行事に参加し、発表する	51	14.2%
市や公民館が主催する行事に参加し、発表する	101	28.1%
発表する機会はない	1	0.3%
その他	9	2.5%
無回答	7	2.0%
合計	359	100.0%

※「その他」:「道新紙上」「市民俳句大会に参加」「大会回数があるので発表する機会がある」「合唱連盟に参加、発表」「福祉施設からの依頼は人数不足の為発表出来ず」「個展等」「合同展への出品」「NHK ギャラリー」「連盟や実行委員会が開催する行事等での発表」など



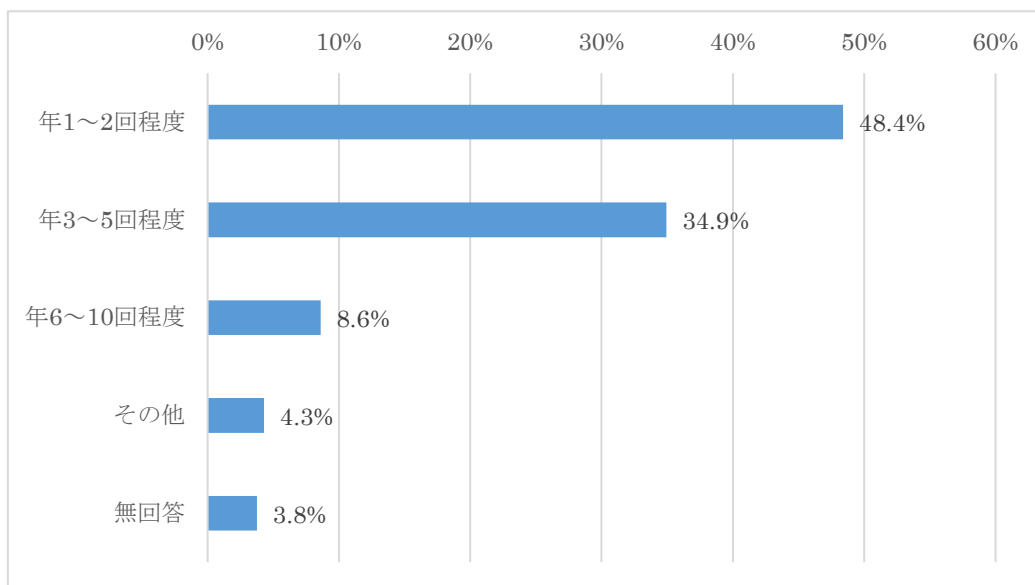
問 1 1 活動の成果を市民等に発表する機会は年に何回ありますか。

活動成果を発表する機会として最も多い回答は、「年 1～2 回程度」が 90 件（48.4%）であり、「年 3～5 回程度」が 65 件（34.9%）と続く。

一方で、最も少ない回答は、「年 6～10 回程度」で 16 件（8.6%）である。

回数	件数	比率
年 1～2 回程度	90	48.4%
年 3～5 回程度	65	34.9%
年 6～10 回程度	16	8.6%
その他	8	4.3%
無回答	7	3.8%
合計	186	100.0%

※「その他」：「年 50 回程度」「年 40 回程度」「年 15 回～20 回程度」「年 2～3 回」「月 1～2 回」など



文化芸術団体の活動等に関するアンケート調査

日頃から、本市の文化行政に対しましてご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、旭川市教育委員会では、今後の文化振興の推進に資するため、文化芸術団体の活動状況や現在の課題などを把握するアンケート調査を実施することとしました。また、旭川市民文化会館のより良い運営と今後の整備の参考とするため、現在の満足度や課題についても併せてお聞きするものです。

ご多忙のところ恐縮ではございますが、アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします。

平成31年2月13日

旭川市教育委員会
教育長 赤岡 昌弘

調査について

過去に、本市文化施設、公民館、補助金制度、後援名義等を使用した際の団体情報をもとに、調査票を送付しています。

ご回答いただいた内容は、本市の文化施策以外の目的には使用せず、調査結果は市のホームページで公表しますが、団体名などの団体を特定する内容は公表されません。

回答方法

次のページからの質問事項に回答の上、同封の返信用封筒に入れて、平成31年3月8日(金)までに投函してください。

問合せ・担当

この調査は、旭川市教育委員会社会教育部文化振興課が実施しています。

ご不明な点は、次の担当までお問い合わせください。

担当 質問Ⅰ・Ⅱ：文化振興課文化振興係 岩本（電話 0166-25-7558）
質問Ⅲ・Ⅳ：文化振興課旭川市民文化会館 井上（電話 0166-25-7331）

質問Ⅰ 団体の概要についておたずねします。該当する番号に○を記入してください。

問1 団体の活動分野について、次の中からお選びください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ① 文学（小説、俳句、短歌など） | ② 美術（絵画、彫刻など） |
| ③ 楽器演奏（吹奏楽、和楽器など） | ④ 声楽（合唱、民謡など） |
| ⑤ 写真 | ⑥ 演劇 |
| ⑦ 舞踊（ダンス、日本舞踊など） | |
| ⑧ メディア芸術（映像制作など） | ⑨ 伝統芸能（雅楽、獅子舞など） |
| ⑩ 芸能（落語、漫才など） | ⑪ 生活文化（書道、茶道、華道など） |
| ⑫ その他（ | ） |

問2 団体の会員数をお選びください。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| ① 1～10人 | ② 11～30人 | ③ 31～50人 |
| ④ 51～99人 | ⑤ 100人以上 | |

問3 団体の会員の平均年齢（中心となる年齢層）をお選びください。

- | | | | | |
|---------|-------|-------|---------|-------|
| ① 10歳未満 | ② 10代 | ③ 20代 | ④ 30代 | ⑤ 40代 |
| ⑥ 50代 | ⑦ 60代 | ⑧ 70代 | ⑨ 80代以上 | |

問4 活動するにあたり、団体の会則や規約（役員、活動内容、会計等に関する決まりを文章にしたもの）を定めていますか。

- | | |
|---------|----------|
| ① 定めている | ② 定めていない |
|---------|----------|

問5 団体で1年間の活動に必要とする経費の額をお選びください。

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| ① 10万円未満 | ② 10～50万円 | ③ 51～99万円 |
| ④ 100～499万円 | ⑤ 500万円以上 | |

問6 団体の練習、創作などの場所として主に利用している施設を教えてください。

【複数回答可】

- | | | |
|-----------------------|-------------|--------------|
| ① 公民館 | ② 地区・住民センター | ③ リハーサルホール |
| ④ 旭川市民文化会館 | ⑤ 旭川市公会堂 | ⑥ 大雪クリスタルホール |
| ⑦ 市民活動センターCoCoDe（ココデ） | ⑧ 旭川市民ギャラリー | |
| ⑨ その他（ | | ） |

問7 団体の練習、創作などを行う頻度を教えてください。

- | | | |
|-----------|----------|-------------------------------|
| ① 週2回以上 | ② 週1回程度 | ③ 月1回程度 |
| ④ 半年に1回程度 | ⑤ 年に1回程度 | ⑥ その他（ ） |

問8 今後、教育委員会から、お知らせ等をお送りしても支障がない方は、ご連絡先の記入をお願いします。

（団体名）

（住所）

（氏名）

（電話番号）

（mail）

質問Ⅱ 団体活動における課題等についておたずねします。該当する番号に○を記入してください。

問1 団体の活動を行うにあたり、どのような課題をおもちですか。【3つまで】

- | | | |
|-------------------------------|----------------|---------------|
| ① 活動資金の調達 | ② 情報発信手段の充実 | ③ 組織体制の強化 |
| ④ 活動内容のレベル向上 | ⑤ 会員の確保・拡大 | ⑥ 高齢化に伴う後継者不足 |
| ⑦ 活動場所の確保 | ⑧ 活動成果の発表場所の確保 | ⑨ 他団体との連携不足 |
| ⑩ その他（ ） | | |

問2 団体の活動活発化のため、市にどのような支援を希望しますか。【3つまで】

- | | | | |
|-------------------------------|-----------|----------------|----------|
| ① 資金的援助 | ② 情報発信の協力 | ③ 他団体との連携機会の提供 | |
| ④ 活動場所の確保 | ⑤ 発表機会の確保 | ⑥ 施設の整備 | ⑦ 活動への助言 |
| ⑧ その他（ ） | | | |

問3 若い世代の担い手の増加・育成に向けた取組を行っていますか。【複数回答可】

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------|
| ① 団体内の若手による発表会 | ② 若い世代が多く参加する行事での発表 |
| ③ 学校での出張授業 | ④ 若い世代を対象とした体験会等の実施 |
| ⑤ 若い世代を対象とした情報発信（インターネットや若者向け雑誌など） | |
| ⑥ 特になし | ⑦ その他（ ） |

問4 若い世代の増加・育成を進めるにあたって、市にどのような支援を希望しますか。【3つまで】

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ① 若い世代に活動や成果を見てもらえる場の提供 | |
| ② 学校教育と連携するための橋渡し | ③ 若い世代に対する情報発信の支援 |
| ④ 若い世代と結びつける体制の整備 | ⑤ 指導者の質向上に向けた講座の開催 |
| ⑥ 特に必要ない | ⑦ その他（ ） |

問5 他の団体と合同で活動する機会がありますか。【複数回答可】

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ① 合同で練習や創作を行う機会がある | |
| ② 他の団体と実行委員会などをつくり、合同で発表する機会がある | |
| ③ 自団体が主催する行事に、他団体に参加してもらっている | |
| ④ 他団体が開催する行事に、参加している | |
| ⑤ 他団体と情報共有を行う場を設けている | |
| ⑥ 合同で活動する機会はない | ⑦ その他（ ） |

問6 他の団体と合同で活動するにあたって、市にどのような支援を希望しますか。
【3つまで】

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ① 他団体についての情報提供 | ② 他団体と活動する機会の提供 |
| ③ 他団体と情報共有する機会の提供 | ④ 他団体との連絡調整 |
| ⑤ 合同での活動方法についての助言 | |
| ⑥ 他団体と合同で活動するメリットを感じない | ⑦ その他（ ） |

問7 団体の活動について、どのような情報発信を行っていますか。【複数回答可】

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ① 団体独自のホームページの活用 | ② チラシ・ポスター等の制作 |
| ③ Twitter による情報発信 | ④ Facebook による情報発信 |
| ⑤ 広報誌「あさひばし」の活用 | ⑥ 市や教育委員会のホームページの利用 |
| ⑦ 民間企業のホームページの利用 | ⑧ 新聞・雑誌・TV 等メディアの活用 |
| ⑨ その他（ ） | |

【3つまで】

- 問9 活動を行う場所について、どのような希望がありますか。【3つまで】

- 問 10 活動の成果を市民等に発表する機会がありますか。【複数回答可】

- 問 11 活動の成果を市民等に発表する機会は年に何回ありますか。

- 問 12 活動の現状や課題、市への要望など、ご意見をご自由にお書きください。

ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、3月8日（金）までに投函してください。